

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 キッズワールドサポートOcean1組

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である			3	3	運動遊び等動きのある活動では環境整備し対応している。	今後も訓練スペース、フリースペースは活動や当日の児童の様子等で室内環境を整えていく。
	2	職員の配置数は適切である				7	職員の急なお休み時には他部署と連携を図り支援にあたっている。	職員の休みを調整している。退職した職員の補充の為、募集をかけているがまだ配置出来ていない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7				事業所内段差なくバリアフリーになっている	児童の特性に合わせて、安全管理を視野に都度検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	3	2	毎朝ミーティングを行い情報共有している	申し送りノートを使いミーティングに参加出来ない職員にも周知し情報共有している。また、月に一度モニタリング実施し、児童の支援の振り返りを行っていきます。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	4		保護者評価を職員間で検討しています。	検討内容を会社内で周知徹底し、改善に努めていきます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			早急に集計し、会社のホームページに記載、公表しています。	ホームページにて毎年自己評価結果を実施後に公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			3	4	第三者を交えた外部評価を実施したことがない。	第三者による外部評価はまだ行ってないので今後は取り組んでいきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2		4	要望があれば研修に参加している。又、地域の研修の機会があれば参加する様に心がけている。	研修の種類がわからない、または時間が合わないなどで参加する機会は少ないが、今後参加できるようにしたい。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	2		個別支援計画書を作成する際に、関係職員にてアセス、モニタ、サービス等計画書をもとに作成行っています。	児発管を軸に、関係職員にて支援を検討を行い、計画書作成を行っていきます。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	3	2	個別ファイルに記載されている。	定期的にあセスメントの更新を行い、関係職員にて周知徹底し、支援に反映していきま	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	2	活動カリキュラムを職員間で検討し立案していきます。	今後活動プログラム作りの勉強会などを実施し、児童支援に寄り添ってプログラムを作成していき	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2	2	職員全体で活動予定を話し合った後、考案している。	児童の特性に合わせて、活動を検討と実施を行っています。又、月に一度保護者へ配布も行っ	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	2	1人1人の課題を把握し、支援を行っている。	1日の活動予定表を作成し、児童へ周知出来るように今後も努めていきます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	3		個別支援計画書を作成し支援を行っています。	個別の支援計画書に沿った支援や、集団での過ごし方等を適時話し合いながら計画書を作成行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		前日のブリーフィングを実施している。	業務開始直後に前日のブリーフィングを行い、職員間で支援の見直しや、解決策を話し合い、支援に反映させています。今後も継続して実施して	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	2	送迎後残っている職員にて共有し、翌日の業務開始直後に出勤している職員にも共有している。	注意事項や突発的な話し合いが必要な事例が発生した際は当日の業務終了後に話し合いを行っているが、振り返りは翌日の申し送り時に実施しています。今後は支援終了後にも実施していくかは検討していきま	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			サービス提供記録にて支援を記録している。職員間で周知徹底行っている。	サービス提供記録にて記録を記入後、モニタリングや担当者会議などでの振り返り等で活用させていただいている。記録の内容を元に、計画書の見直しも随時行っています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2		定期的にモニタリングを実施しています。	適時モニタリングを実施し、支援の評価と見直しを実施しています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	5		会社ガイドラインに合わせて支援を提供している。	児童のより良い支援を目指して研鑽を積んでいきます。		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2	2	児発管または、現場児童指導員にて担当者会議に参加している。	適時モニタリングを実施し、支援の評価と見直しを実施しています。見直し内容と日頃の利用状況をまとめ、適切な職員で対応行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			スクリレを活用し、予定を把握するようにしています。	学校お迎え時に先生からの引継ぎを確認するようにしています。又、事業所での児童の様子や特性について情報提供する様にしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3		児童の基本情報の1つとして主治医を個人ファイルに記載しています。	今後、医療的ケアが必要な児童が入所になった際は、主治医と連携図り、成長のサポートをしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4		児童発達から放課後デイへ移行する際には保育園の情報を引継ぎにて提供していただいています。	今後も密に連携を図り情報共有を図って児童支援を提供していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4		まだ卒業して福祉サービスに繋がる児童はいなかった。	まだ卒業した児童がいないので、卒業の際は関係事業所との情報共有と連携を図っていききたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	3	利用児のリハビリ見学を実施した。	利用児の通院しているセンターへ行き、リハビリの様子等を見る事で、事業所で今後取り入れてより良い支援を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	4	宮城学童へ行きイベント参加しました。	地域活動等参加できる所は積極的に参加をし交流できる機会をふやしていきたい。また、児童館のイベント等を利用しながら遊びの幅を広げる取り組みを実施していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	4	参加したことがない。	機会があれば参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1		送迎時の保護者引継ぎの際には児童の様子や支援内容を伝えている。	今後も保護者との関りを増やし、家族の困りごとを親身に受け止め連携を図っていききたいです。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	4	要望があれば情報提供していきたい。	ペアレントトレーニングを希望している保護者へは研修情報があれば提供している。また、当事業所でもペアレントの観点で話し合いができるような環境も検討して行きたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	5		契約時に説明行っている。	契約時に説明行っているが、保護者から内容の確認があれば適時に管理者にて説明させていただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		保護者からの相談があれば助言を行っている。	相談があれば、都度引継ぎやアドバイスをを行っている。また、状況内容に応じては個別面談にて対応おこなっていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	5	コロナ禍の為	コロナウイルスもあり実施できていないが、今後保護者を交えた交流会やイベントを企画して行きたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			苦情、助言があれば職員間で話し合っている。	内容を真摯に受け止め対応できるように努めていきます。又、第三者委員会等を活用し、適切な対応ができるように心がけていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	3	定期的に発行している。	活動予定や会報を配布し、その都度、事業所での取り組みや子供たちの様子を報告していく。
	35	個人情報に十分注意している	7			個人情報は徹底的に漏洩防止に努めている。	個人の情報の管理は各職員で重要性を伝え、情報漏洩が無いように努めている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			言葉の使い方を気をつける様にしている。	接遇を意識出来るように定期的に職員が学ぶ機会を作っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	3	餅つき	地域のイベントに参加のみではなく、事業所内でも地域参加が出来るような取り組みを検討して行く。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3		対応マニュアルはあるが、内容は保護者には伝わっていないと思う。	防火、防災、防犯訓練実施の度に保護者へ内容や様子を引き継ぎ、マニュアル等の周知に取り組みたい。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2		避難訓練は行っているが実施回数を増やして行きたい。	避難訓練の実施頻度を増やして、質を高められるように職員間で話し合っていきます。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			1	5	地域の虐待防止の研修にしか参加していない。	今後、虐待防止委員会を主軸に社内での研修の機会を作っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	3		2	拘束が必要な児童がいない為、拘束が必要になれば、組織的に対応して行きたい。	拘束が必要な児童は現在いない。やむを得ない理由で拘束の必要性が出てきた際は、職員間、保護者と情報共有を密に対応させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1		3	食物アレルギーの児童に対して適切に対応して行きたい。	現在アレルギーに該当する児童はいないが、必要なケースが発生した際は職員間で周知徹底し、適切な対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				ケースが発生した際は記録を残している。	ヒヤリハットを活用し職員間で改善を話し合い、よりよい支援が出来るように勤めていきたい。